

アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）平成 28 年度教育研究報告書

事業課題名	英語研修（ハワイ）
代表者名	家入 葉子
事業概要 (600 字程度)	<p>ハワイ大学マノア校に付属する機関が実施する非母語話者向けの英語研修コースに参加する事業。2016 年度は、夏のプログラム（2016 年 7 月 31 日～8 月 20 日）に参加した。ハワイで生活しながら、大学で語学教育を受けることで、総合的な英語力の向上を目指すことを第一の目的とする。しかしながら、語学研修コースそのものが、英語力の向上に加えて、異文化理解と異文化間交流を重要な目的の一つに掲げているため、授業の一部は、ハワイ大学のキャンパスの外でも行われる。また、参加者には、ハワイの歴史や文化を一方向的に学ぶばかりでなく、参加者の側から異文化の人々に日本の歴史文化を理解してもらうための取り組みとその体験も期待されている（SEND）。このような事業の総合的な目的を十分に理解していることを条件に、基礎的な語学力も考慮しながら、参加者の選考を行った。プログラムの終了後には、参加者に語学研修の成績と修了証が交付された。</p>
成果の概要 (800 字程度)	<p>2016 年度は、本プログラムに 3 名の学生が参加した。昨年度までと同じ要領で、ホノルル市内の一般家庭に滞在しながら、ハワイ大学のプログラムで語学研修を行った。プログラムでは、語学力に応じてクラス分けがされ、それぞれのレベルに適切な教材を利用しながら、またときにはハワイ大学を離れて、英語の実践的なトレーニングが行われる。ハワイの歴史や社会について学ぶだけでなく、ハワイ大学の学生との交流や日本文化の紹介などの活動を行いながら総合的に英語を学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>帰国後、10 月 6 日に文学研究科第 6 講義室において、報告会を行い、参加者の感想の聞き取りを行うとともに、総括を行った。参加者は、いずれもプログラムを通して、英語の実践的な運用について、自信を深めることができたと述べている。また、国際交流が一方向的ではなく、受容と発信の両方から成り立つことを、体験によって学んだ意義も大きい。SEND の目的を十分に果たすことができたといえるだろう。短期の語学研修であるので、英語力そのものを飛躍的に向上させることは必ずしも容易でなく、また事業としてもこれを想定していない。しかしながら、参加者の語学学習に対する意欲を高め、国際理解のあり方そのものについての学びの姿勢に働きかけをすることができたという意味において、事業は成功であったと確信してよい。</p>